

論文審査の要旨

報告番号	乙 第 2945 号	氏名	木村 謙吾
論文審査担当者	主査 内田直樹 教授 副査 久光 正 教授 副査 宮崎 章 教授		
(論文審査の要旨)			
<p>本論文は、糖尿病治療薬 dipeptidyl peptidase-4(DPP-4)阻害薬 Linagliptin を服用する糖尿病合併血液透析患者(DMHD)の血中における、酸化ストレスマーカー(superoxide dismutase:SOD)および血管拡張因子(nitric oxide:NO, nitric oxide synthase:NOS)を測定し、Linagliptin の抗酸化作用および血管拡張作用を検索したものである。</p> <p>DMHD 20 名を対象に 6 ヶ月間 Linagliptin 投与試験を行った。その結果、投薬前と比較して投薬後 6 ヶ月で血中 SOD 活性は有意に減少し、NO, NOS 活性は 3 ヶ月から有意に増加し、6 ヶ月で最大となった。</p> <p>以上より DMHD において Linagliptin は、酸化ストレスを抑制し、NO を介した血管拡張作用を促進することが示唆された。この新知見は、学術上価値のあるものであり、学位に値するものと判断した。</p>			
<p>論文題名 : Pleiotropic effects of linagliptin monotherapy on levels of nitric oxide, nitric oxide synthase, and superoxide dismutase in hemodialysis patients with diabetes</p> <p>(糖尿病血液透析患者の一酸化窒素(NO)、一酸化窒素合成酵素(NOS)および活性酸素消去酵素(SOD)に対する linagliptin 単独療法の多面的効果)</p>			
<p>掲載雑誌名 : THE SHOWA UNIVERSITY JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES</p> <p style="text-align: right;">Vol.28 No.1 2016 年 3 月 掲載予定</p>			

(主査が記載、500 字以内)